

「20年の感謝」

副実行委員長 小林 真季



時が経つのは早く、私も今年成人式を迎えることとなりました。ここまで来るのに多くの方の支えがあったと20年間を振り返ってみて改めて実感しています。

先生方には、色々な場面でご指導くださりとても感謝しています。先生方のおかげで正しい道に進むことが出来ているのだと思っています。

また、私は友達に恵まれた20年間を送ってきたと思います。楽しいことを一緒に共有し、つらい時には励まし合いながら友達の優しさが幸せなことであると日々実感しており、これからも友達を大切にしていきたいと思っています。

そして、何よりも感謝を伝えたいのが家族です。私にとって家族は大きな存在であり

かけがえのないものです。たくさん迷惑や心配をかけてしまったけれど、これからは恩返しができるようにしたいです。

最後に、私は生まれ育ったこの小諸市で成人式を迎えられることを嬉しく思っています。出会った全てのの人に感謝をし、立派な大人になれるよう努力していきたいです。

— 成人式実行委員の皆さんをご紹介します —



井出 千品 小林 真季 小林 真季 佐藤 利斗 佐藤 利斗 高橋 壮太 高橋 壮太 高橋 壮太 馬場 愛也 原野 紗衣 箕輪 朋晃 宮澤 正真 柳澤 莉奈

(五十音順)



第2回 公民館関係役員研修会

11月15日(水)に第2回公民館関係役員研修会が行われました。今回は「救命法の基本的な知識・技能」と題し、小諸消防署より救急救助係の大島稔係長・職員の丸山貴氏・土屋達郎氏・金子優作氏・中田恭輔氏の5名を講師に迎え、心肺蘇生法やAEDの使用法などの実技講習を行いました。実技指導の前に救急搬送の現状についてお話をしてくださったのですが、私が印象に残ったお話では、緊急を必要としない要請が大変多いということでした。中には救急車をタクシー代わりとして出動要請をされることもあるとか。また、救急搬送された患者さんの半数は軽症の方で、病院で処置を施された後入院をせず帰宅される方が多かったということでした。

続いての実技指導は、数名のグループに分かれ人形を使って心肺蘇生法やAEDの使用法についての講習を受けました。はじめに講師の先生が手本を示してくださり、そ

の後一人ずつ人形を使って心臓マッサージをしたのですが実際にやってみるとかなりの力で胸骨を圧迫しなければならぬことを身をもって体験することができました。AEDの使い方の指導では、2枚のパットを充てる箇所の説明があり、その後は機械の音声案内の指示に従って操作すれば安全に使うことができることを学びました。

今回の講習会では、早期の対応がいかに大切なことを学びました。しかし、実際にその現場に遭遇した時に落ちていて心肺蘇生法やAEDを使うことができないか不安になりましたが、この講習を思い出し活かすことができればと思います。

編集委員 山中 祐子



救命講習の様子